令和5年度　学校評価　次年度の課題　一覧

令和5年度学校評価会議（自己評価）

分　掌	**分析**《目標（＝あるべき姿）と現状とのギャップ等》	**課題**《ギャップを埋めるために必要なこと》**と対策**《具体的な施策》
総　務	（保護者・教員） ・保護者に、防災計画、防災対策について （保護者） ・PTA活動への参加が少ない （生徒・教員） ・施設設備について （教員） ・PTA や同窓会など、関係団体との連携	《課題》 　本校は、にかほ市の避難所として指定されている。今回の能登地震のような地震があった際の学校の防災対策を保護者にも伝えておくことは必要と思われる 開示すべき内容 　本校の位置情報、避難情報、交通が遮断された場合の生徒の対応などについて 《対策》 ホームページ、PTA会報等に記載など
教　務	教師用アンケートの「指導と評価の一体化」の項目と、生徒用アンケートの「授業意欲」の項目の肯定的な評価が昨年度より低かったことから、指導と評価の一体化の実践状況が低調で生徒の学ぶ意欲に結びついていないことが問題点と考える。	《課題》 ・「指導と評価の一体化」について周知徹底を図る。 ・生徒の学習への意識付けを組織的に行う。 《対策》 ・「指導と評価の一体化」の意義や事例について研修を行う。 ・家庭学習や意欲的な学習を評価するシステムを構築する。
生徒指導	・基本的な生活習慣や、スマホや SNS の利用に関しては、家庭の教育力に期待したいと考えるが、保護者アンケートでは、ほとんどの家庭で指導していると答えている。学校が期待する家庭の教育力と、実際の家庭の教育力に大きな差があるのではないか考える。 ・「他者を尊重する意識を育む指導」が知られていないのは、指導不足の面もあるが、指導の実態が伝わっていないのも原因の一つ考える。	《課題》 ・保護者を巻き込んだ、生徒指導の徹底が不十分である。 ・なぜ現状の生徒指導がされているのか、生徒自身が理解できていない。 《対策》 ・生徒指導部便り（長期休業前）を活用して、保護者に対して本校の生徒指導の理解を深めてもらうとともに、保護者がすべきことを認識させる。 ・ルール作りに生徒も参画させ、生徒指導を自分ごととして捉えさせる。
進路指導	・生徒は学年が進行するにつれて、進路に関する評価が上がってきている。1年生からの意識づけが必要。 ・保護者のインターンシップや職場見学等の体験活動充実度で「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」が86.8%と満足度が高いことに対して、「進路についての情報提供」では同 71.3%、「進路に必要な科目選択ができているか」同 70.3%と、少し評価が低いので、3年間を見通した進路指導の在り方と、情報提供について具体的な改善策が必要と考える。	《課題》 ・1年次の科目選択の前に、進路志望を確認し情報を提供し、よく説明をしたうえで科目選択をするように、一層の丁寧さが必要である。 ・インターンシップを通して、地元企業などで働くことを自分ごととして捉え、卒業後の進路選択に効果的に繋がるように運営企画していかなければならない。 《対策》 ・総合的な探究委員会・学年部との連携を一層深め、進路指導部からも進路探究・進路指導の方策を企画して提案していく。「航跡」の内容の充実・更新、活用方法の提案。
特別活動	全校生徒数の減少により、部活動の少人数化や部員「0」の休部が進行し、大会・コンクール・展覧会の参加が難しくなり、とても厳しい運営状況になっている。	《課題》 部活動・同好会の数を削減せずに、現在のままの状態で、少人数でも活性化するための環境整備とバランスのよい運営方法の確立 《対策》 ・年度当初に部活動の意義や本校の独自の部活動のあり方についての講話を行い、全校生徒に意識づけをさせて、部活動に対しての意欲の向上を図る。 ・運動部同志の兼部や合同チームも視野に入れ、総合運動（文化）同好会のあり方を理解させ、部活・同好会の人数を増やすための運営方法を工夫する。
健康教育	生徒、教員ともに清掃に関する肯定的な意見が高くない点が問題である。又、教育相談の体制や健康管理についての指導の評価が前年より低下している点も問題があると思われた。	《課題》 ・清掃体制の在り方と指導の仕方の検討。 ・教育相談、健康管理の体制の確認と周知。 《対策》 ・年度初めに提示した清掃の仕方や割当等を確認して周知徹底し、校内美化の意識を高める。 ・職員間、特に各学年部との連携を密にして情報を共有する。ほけんだより等で情報を適宜提供し、健康を維持することの大切さを機会を逃さず伝えるようにする。
教育情報	教師用アンケートの「読書を取り入れた朝学習」の項目と、生徒用アンケートの「図書室利用」の項目の肯定的な評価が昨年度より低かったことから、朝学習の読書が減ったことや、図書館利用の一層の広報が問題点と考える。	《課題》 ・「朝学習に読書を行うことの様々なメリット」について周知徹底を図る。 ・生徒の図書館利用への意識付けを組織的に行う。 《対策》 ・朝読書の効用について学年にアピールする資料を配布する。 ・生徒の読みたい本のアンケートなどを実施し、より身近な図書館づくりに努める。